

みずほCustomer Desk Report 2017/02/08 号(As of 2017/02/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.82	1.0744	120.10	0.9915	1.2467	0.7647
SYD-NY High	112.58	1.0750	120.20	1.0007	1.2547	0.7681
SYD-NY Low	111.59	1.0656	119.55	0.9909	1.2347	0.7605
NY 5:00 PM	112.38	1.0683	120.08	0.9977	1.2506	0.7628
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.24/11.965	△25RR	0.575	Yen Call Over		
NY DOW	20,090.29	37.87	債券市場	日本2年債	-0.2110	0.1bp
NASDAQ	5,674.22	10.67		日本10年債	0.1080	0.2bp
S&P	2,293.08	0.52		米国2年債	1.1650	1.6bp
日経平均	18,910.78	▲65.93		米国5年債	1.8469	0.2bp
TOPIX	1,516.15	▲4.27		米国10年債	2.3931	▲1.5bp
シカゴ日経先物	18,970	95.00	為替市況	独10年債	0.3500	▲2.0bp
ロンドンFT	7,186.22	14.07		英10年債	1.2890	▲2.8bp
DAX	11,549.44	39.60		豪10年債	2.6960	▲6.8bp
ハンセン指数	23,331.57	▲16.67		USD/CNH	6.8352	0.0350
上海総合	3,153.09	▲3.90		ドルインデックス	100.41	0.50
USDJPY 3M Vol	11.87	0.21%	商品市況	CRB指数	191.374	▲0.79
USDJPY 6M Vol	11.76	0.08%		NY金	1,235.50	3.40
EURJPY 3M Vol	11.57	0.46%		WTI	51.70	▲1.31
EURJPY 6M Vol	12.94	0.15%		Dubai Spot	53.85	▲1.12

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月7日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.50%
	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 -0.3%/-0.7%	0.3%/2.5%
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$44.3B	-\$45.0B

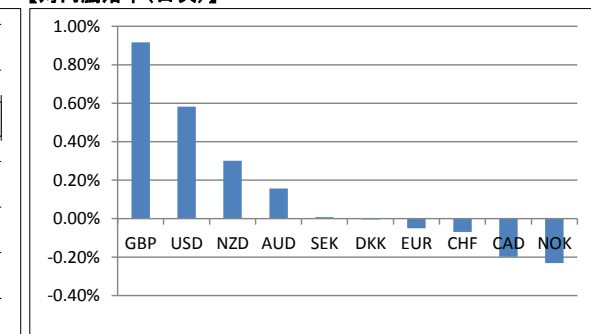
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月8日	8:50	日 日銀金融政策決定会合(主な意見)	1月 -	-
	8:50	日 経常収支	12月 ¥1183.3B	¥1415.5B
	8:50	日 貿易収支	12月 ¥738.9B	¥313.4B
	21:00	米 MBA住宅ローン申請件数	-	-3.2%
2月9日	0:30	米 原油在庫統計	-	2,695K
				6,466K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-113.00	1.0600-1.0720	119.00-120.50

【マーケット・インプレッション】

前日海外時間のドル円相場はレンジ推移。欧州時間に欧州政治リスクを背景にした対ユーロを中心にしたドル買いの動きと、米金利の上昇を背景に112円台半ばまで回復したドル円相場は、米国時間に入ると米金利の再下落に伴い、再び112円割れ。NY時間午後には米金利が反発し、日経平均先物が戻りを試す展開となると112円台を回復。本日のドル円相場は方向感に欠く展開を予想する。足元の注目は10日に控える日米首脳会談。昨日発表された米貿易統計では、米国の対日貿易赤字額が中国について二番目に大きい金額となるなど、貿易赤字の縮小を掲げるトランプ政権下において、貿易が焦点として議論される可能性は高い。係中、為替政策や日本の金融政策にまで及んで批判がなされるようになると、ドル円も下値を試す展開となることも想定されよう。とはいえ、ここ数日の値動きを見てみるとドル円の下値の底堅さも窺え、週内は既往のレンジ内での推移を想定したい。

東京	東京時間のドル円は111.82レベルでオープン。前日からの欧州政治不安を背景としたリスク回避ムードの高まりを受けた円買い優勢地合いの中、ドル円は一時111.59まで下落。その後は、本邦実需勢のドル買いや投機筋による押し目のドル買いの動きが散見される中、午後にかけて日経平均が下げ幅を縮小させると、ドル円は一時111.96まで上昇。東京時間昼過ぎに発表された豪政策金利は市場予想通り据え置きとなり、ドル円相場への影響は限定的。引けにかけてドル円は、やや方向感に欠ける中、111円台後半での小動きを続け、結局111.80レベルでクロスした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は序盤に112円台に押し上げ、その後は横這いの展開となった。朝方は111.80レベルでオープン、ロンドン時間午前8時付近に全般的に大きくドル買いの流れとなり、これを背景にドル円は112円台前半まで上昇。その後は欧州株の堅調地合を受けてクロス円も底堅く推移する中、ドル円は112円円台前半でレンジ推移となり、112.30レベルでNYへ渡った。ボンドドルは序盤に大きく1.23台半ばまで下落した後、横這い。朝方は1.2459レベルでオープン。欧州時間に入りドル買いの流れが勢い付く中、ロンドン時間午前8時に50日移動平均を割り下値1.2347まで大きく下落。その後は方向感に欠ける展開となり、1.2371レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフィー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は海外時間に111.59から112.30まで上昇し、NYオープン。朝方は米株が高値圏で寄り付くとドル買いが強まり、高値となる112.58まで上昇。しかし米12月貿易収支で対日赤字が中国について2位となったことから10日から11日にかけて予定している日米首脳会談の内容も懸念される中、積極的に上値を追う展開とはならなかった。その後、カジャリ・ミネアポリス連銀総裁から「インフレは抑制されており低金利がなお適切」とのハル派の発言が伝わると、米長期金利の低下を受けてドル売りが強まり、ドル円は111.82まで下落。この水準ではプラス圏で推移する米株を横目に下げ渋った。また、朝方の英中銀のクリスティー・フォブス氏から「(英国の)経済指標の改善が見られれば、利上げの可能性もあるだろう」との発言が意識され、ボンドショートカバーからボンド円が大幅に上昇したこともあり、ドル円は112.40円付近まで反発し、112.38レベルでクロスした。一方ユーロは海外時間に1.0750から1.0677まで下落し、NYオープン。朝方は米長期金利の下落を受けてドル売りが強まり、また連連銀総裁の「インフレが上昇したら緩和的な政策は終わらせるべき」との発言もあり、1.0706まで上昇。しかし政局不安などから一段のユーロ買いとはならず、1.0683レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・鶴田